大殿中学校だより

独往自立

平成３０年度　第５号
（平成31年3月25日発行）

祝 第七十回卒業証書授与式 前人未到～新たなる一歩～

三月九日(土)、本校第七十回卒業証書授与式が多くの保護者やご来賓の皆様のご列席のもと、盛大に挙行されました。

長らく体育館が工事で休館でしたが、半年ぶりの再開です。

今年の卒業生は八十八人(男子四十八人、女子四十人)で、創立以来の卒業者数は一万二千四百十八人となりました。卒業生は、生徒会スローガン「前人未到～新たなる第一歩」のもと、体育祭や文化祭で一致団結して大いにリーダーシップを発揮し活躍しました。また、ＯＴＫ(大殿地域に貢献し隊)活動にも積極的に参加し、地域を学びふるさとを知り、地域の方々の思いにふれることができました。さらに、真摯ではつらつとした態度、互いに高め合おうと切磋琢磨する姿、寛容で優しさあふれる言動は実に素晴らしかったです。地域の方にはたいへんにお世話になりました。卒業生は、校訓である「独往自立」の精神のもと、自分はいかに生きるべきであるか自問自答し、大殿で育った誇りとともに、社会に貢献する大きな人になってくれると信じています。今後ともご支援ご声援のほどよろしくお願いいたします。

校長式辞より ～幸せな人生を～

～(前略)～　この地で、多くの方々のお世話になりながら学び、健やかに成長してきたみなさんには、これからを幸せに生きていくために、大きな夢を抱いてほしいと、心から願っています。

夢は、人を強くしてくれます。夢は人を大きくしてくれます。今年も、まもなく三月十一日がやってきます。東日本大震災から八年。今なお、悲しみの中で、苦難を強いられている数多くの方々がおられますが、そんな中で、新たな夢を抱き、実現させようと懸命に努力し続けた人、今なお努力し続けている人が大勢います。その後も多くの地域が災害に見舞われましたが、災害が発生するとすぐに駆けつけて、ボランティア活動を行う大勢の人がいます。逆に、被災された方の中には、多くの人に助けていただいたから、今度は自分が人の役に立ちたいと、人を助けることができる仕事に就きたいという夢を抱くようになった人もいます。

このように、私たちを取り巻いている社会は、多くの人々の支え合いで成り立っているのです。自分が周りの人の役に立つと、それが、自分自身の喜びになります。自分への勇気づけにもなり、今、ここに自分が生きているという幸せを実感できるようになるのです。　～(中略)～

今、日本には、近隣諸国との平和・友好関係の構築、高齢化、経済格差、環境問題など、解決すべき多くの問題があります。これからは、それぞれが、自分の選んだ道を進んでいくわけですが、さまざまな問題を解決してよりよい社会をつくるために、自分はいかに生きるべきかを自問自答し、社会のために貢献しようとする、大きな人になってください。本校の校訓である「独往自立」という言葉を、いつも心に留めてほしいと思います。まもなく改元を迎え、新たな歴史の幕が開きます。みなさんには、これから訪れる、社会の大きな変化の波に翻弄されることなく、常に正しい判断のもと、自分にしかできない役割を果たして、悔いのない幸せな人生を歩んでほしいと願っています。～(後略)～

表彰紹介　文化面も大活躍です！

◆山口県中学校総合文化祭光大会　出品作品
【美術の部】一年　村岡真衣　二年　山﨑愛莉
【習字の部】三年　中司桂太　西岡慶和

◆第五十四回山口県歌人協会短歌大会
入選　三年　藤井百花

◆山口市中学校学年別卓球大会
二年男子団体の部　第一位
二年男子ダブルスの部一位　二年　沖上誠　中野湧飛
二年男子シングルスの部二位　二年　松原悠空
一年男子ダブルスの部三位　一年　金子空矢　元廣錬太郎
一年男子ダブルスの部三位　一年　徳本凌　佐藤元

◆第三十回山口市近郷バドミントン大会
一年単　三位　村田樹香　二宮あみ

◆平成三十年度山口県冬季中学生卓球大会
Ａ級男子シングルス　優勝　二年　松原悠空

◆第三十八回山口市ライオンズ杯卓球大会
中学二年シングルスＡ　三位　沖上誠
シングルスＢ　三位　三浦愁斗

◆第六十三回山口県音楽創作コンクール
器楽部門　特選　二年　牛島惇

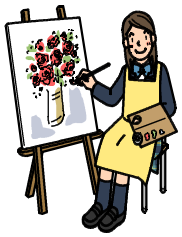
◆学校給食料理コンクール
優秀賞　二年　嶋村匠真
アイデア賞　二年　牛島惇

◆第七十一回山口県学校美術展覧会
推奨　一年　佐々木大壱
優良賞　一年　田中真依
入選　一年　青木陽那
村岡真衣　元廣錬太郎

◆平成三十年度火災予防作品習字の部
優秀　二年　北村文音

◆平成三十年度春季防府団体卓球大会
中学男子の部　Ａ級　第三位

◆映画感想画コンテスト２０１８
山口県　優秀賞
二年　山﨑愛莉



←　人権作文の学校賞受賞。
金子みすゞの学校賞に続き、
積極的な取組に感謝！

三学期学校運営協議会を開催

二月二十二日(金)、第五回学校運営協議会を開催しました。

学校評価書に基づき、二学期末に行った学校評価アンケート(下段参照)の結果や最近の生徒の様子についてご意見をいただきました。

○「楽しい学校生活について」は、肯定的な割合が八十九%と高いが、「楽しくない」と感じている生徒にスポットをあて、ケアに努めてほしい。
○「自分にはよいところがある」と思っている生徒は、八十七%と全国平均の七十九%を上回っている。学力向上について、読書の取組を高め、国語力の向上を期待したい。
○「地域へのあいさつ」は、概ね良好である。更に地域に愛されるよう、地域連携を強め、コミュニティ・スクールの活性化につなげてほしい。
○「気軽に先生に相談できる」の項目は、一学期六十九%から二学期七十一%へと向上しており、徐々に信頼関係が結ばれつつあるが、全体の数値は決して高くない。SCの活用や相談体制の構築を万全にして、子どもたちのケアをお願いしたい。
○「業務改善」については、無償で夜遅く残っての残業や休日業務は依然多い。

部活動については、スポーツ庁・文化庁からガイドラインが示され、来年度には、県・市教委からも指針が示されます。これらに沿って、学校としても方針を示す予定です。

来年度は、コミュニティ・スクールの活性化を図るため、学校を開き、地域の方々にも気軽に立ち寄っていただけるよう工夫して行きたいと思います。

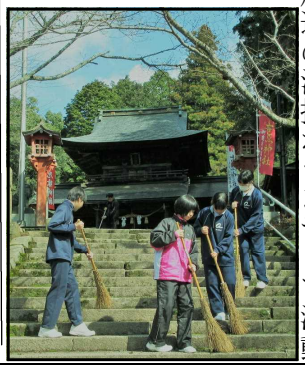
コミュニティ・スクールとしての「コミュニティルーム」を開設しました。

大殿中「クリーン作戦」実施

三月十九日(火)、毎学期末に行っている「大殿中クリーン作戦」を実施しました。

これは、ＯＴＫの一環として、全校生徒参加による学校内及び学校周辺の清掃ボランティア活動です。校外は学校周辺の通学路や名所・文化財等ゴミ拾いや草引きをしました。

故郷に学び、故郷に誇りをもって、自己を磨き、高めたいと思っています。



◆小中連携授業「美術」から（2月4日）

なんと微笑ましい光景なんでしょう。中学生と小学生が、両手を差し延べ、和紙の原料を水に溶いています。

この日は、中学校２年生の美術の授業に小学校６年生が加わり、「千代紙の飾り和紙づくり」にチャレンジしました。中学生は、試行錯誤しながら、小学生に教えることの難しさを感じていました。大殿小・中学校では、このような連携事業を年間を通じて行っています。小学校の英語の授業に中学校３年生が駆けつけ、マンツーマンで教えることもあります。また、毎週金曜日は、小中学校の数学の教員が、学校を入れ替わって、指導に出かけています。夏休みには小中全員の教員が集まり研修会も行っています。

二年生「立志式」

決意を込めた書を見せながら宣言する生徒＝13日、山口市

「立志式」夢実現へ決意　山口・大殿中

山口市古熊の大殿中学校で13日、今後の決意を表明する「立志式」があり、2年生83人が決意の言葉を述べた。

生徒らは一人ずつ壇上に立ち、決意の言葉を毛筆でしたためた書を見せながら「保育士になるため勉強を頑張りたい」「困難にぶつかっても諦めない」「自分で覚を持ってもらうことなどを目的に毎年実施している。「多作多抽」と書き、考え実行できる人になる」と、決意の言葉を述べた生徒会長の牛島惇さん(14)は「たくさんアイデアを出しより良いものを選び、活気のある学校にしていきたい。みんなの前で誓って決意が強くなった」と話した。

松田和賀校長は「一人一人の表情や漢字から強い意気込みが感じられた。これからも志を強く持ってほしい」などと式辞を述べた。

同校では、最上級生に自

↑
山口新聞
記事から

3月13日に2年生の立志式をＣＳ学校運営協議会副会長さんや同窓会長さん保護者約70名の方々に見守まれ、盛大に行うことができました。志を漢字で表すことで、一人ひとりの強い思いが一層伝わってきました。

一年生「働く方に学ぶ会」

一年生は三月十五日(金)に「働く人から学ぶ会」の事業を行いました。これは社会で活躍している人から、職業に関する思いや使命感、苦労などについて直接聞くことで、今後の進路選択や自己のあり方・生き方等を考える機会にすることを目的にしています。このたびは、商社マン、看護師、新聞記者の方のお話を聞くことができました。様々な人と出会い、生き様を知り、あこがれの念を抱き、膨らませ、自分の将来の夢の実現につなげてほしいと願っています。

山口市立大殿中学校　〒753－0031　山口市古熊1－4－1
☎083－922－0688　FAX　083－922－5413